

アート界のイノベーション③

通番	区分	テーマ	ねらい・概要	スライド	使用教材
	I・II		「芸術」に対して自分が持っている「常識」に関して歴史的な作品を鑑賞するなど様々な角度から考察することによって、再考する機会を持ち、イノベーションに関する理解を深める		

時間	スライド	ファシリテーション・生徒の活動・留意点など
0分	<p>「芸術界」にイノベーションを起こした作品</p> <p>3</p> <p>この絵を1分間じっくり見てください 次にあなたがこの絵から感じたことを 100文字程度の短いストーリー を考えてみてください。</p>	<p>テーマとなる「絵」を見せて、そこから100文字程度のストーリーを考えさせる。 グループ内で発表させ、それぞれの作品についての感想や評価を互いに行う</p>
15分	<p>松林図屏風(国宝) 長谷川等伯(室町・安土桃山時代) 何故人を惹きつけるのだろう?</p> 	<p>グループ内で代表者を決めて作品を発表する(グループ内で作品に修正や補足をしても良い)</p> <p>「松林図屏風」を鑑賞する この作品は何が高く評価され見る人を惹きつけているのか、考えてみる</p>
25分	<p>千利休「朝顔の庭」エピソード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見事な利休の「朝顔の庭」 ・評判を聞きつけた秀吉「見せてほしい」 ・利休は朝顔の花をすべて摘み取る ・茶室には「一輪の朝顔」が生けてある <p>⇒ 何をねらったのか?</p>  <p>「どこからどう思う?」 主観的に感じた「意見」の根拠となる「事実」を問う 何をどう感じたか? → 根拠はどこから?</p> <p>「どこからどう思う?」 作品内の「事実」から主観的に感じた「意見」を問う 多くの意見が聞かれている → どこからどう思う?</p>	<p>考えるヒントとして、千利休「朝顔の庭」に関するエピソードを紹介する</p> <p>利休はなぜ咲いている朝顔の花をすべてつみ取り、茶室に「一輪の朝顔」を生けたか?</p> <p>この作品の鑑賞を行う 何を感じたか?どこからそのように感じたか?</p> <p>作品内の「事実」から「主観的に」感じた「考え」を言う。 自分で感じたことであるから「正解」や「不正解」という評価にはならない</p>

35 分



- 1 作者にある「得意」とのやりとり
- 2 作品、そのもののやりとり・・・音楽鑑賞

「アート」とは何か 5つの質問

問1
アートは美を追求すべきだ
YES(白カード)-NO(黒カード) その理由

「アート」とは何か 5つの質問

問2
作品は作者自身の手でつくられるべきだ
YES(白カード)-NO(黒カード) その理由

「アート」とは何か 5つの質問

問3
すぐれた作品をつくるにはすぐれた技術が必要だ
YES(白カード)-NO(黒カード) その理由

「アート」とは何か 5つの質問

問4
すぐれた作品には手間暇がかけられているものだ
YES-NO その理由

「アート」とは何か 5つの質問

問5
アート作品は「視覚」で味わえるもので、すぐれた作品には手間暇がかけられているものだ
YES(白カード)-NO(黒カード) その理由

次の作品は近代アートに
最も影響を与えた作品第1位
に選ばれたものです
作品をよく見て気づいたことを
アウトプット鑑賞しましょう
例：(事実)穴があいている→
そこからどう思う？



かつて存在した「小便器」が芸術作品として認められること、100年後の1977年、ニューヨークの「ポン」展に「小便器」が展示され、多くの注目を集めました。
「小便器」は、作者自身が制作したもので、その制作過程や意図が重要視されています。
この作品は、作者の意図や制作過程が重要視されています。
この作品は、作者の意図や制作過程が重要視されています。

近代美術は、伝統で縛られるべきに解き放たれたもので、その中で、手造りアート作品でも人々が受け入れ、評価されるようになった。これは、作者の意図や制作過程が重要視されるようになったことを示しています。
「小便器」は、作者自身が制作したもので、その制作過程や意図が重要視されています。
この作品は、作者の意図や制作過程が重要視されています。

45 分

また、この作品に「正解」は存在するのかどうか、お互いに考えてみる

これらのことから「作者」「作品」「鑑賞者」の関係について考察する

音楽の場合を例にとると、理解しやすい「私たちは音楽を鑑賞する時、作者の意図をどこまで考慮しているか？作品そのものを見ているのではないか？」

アンケート調査（グーグルフォームにて）

「アートとは何か」次の5つの質問を通して自分の認識を確かめてみる

- 1 アートの目的
- 2 アート作品の作成について 誰が作成し、どのように作成すべきか？
- 3 アート作品の鑑賞について

これらの「アートに関する自分自身の認識」を踏まえてマールセル・デュシャンの「泉」を鑑賞する

感じたままに自分の「問い」を出来るだけ多く創り出す

この作品がなぜ「アート界最大級のイノベーション」なのか？

「何を変革したのか？」

ついでに、この作品は「現代美術」と呼ばれるようになり、その後の美術界で重要な役割を果たした。この作品は、時を経て「現代美術」と呼ばれるようになり、その後の美術界で重要な役割を果たした。この作品は、時を経て「現代美術」と呼ばれるようになり、その後の美術界で重要な役割を果たした。

この作品によって、あなたの芸術の常識は変わりましたか

この作品の背景を説明する

これらの学びを通して自分の「芸術」に対する常識は変化しましたか？